

# 守谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(令和4年度～令和13年度)リーフレット

## 5 Rを推進して目指す 守谷市の将来像



## 子どもたちの未来に約束する『持続可能な循環型社会の形成』

守谷市では、新たに「守谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(令和4年度～令和13年度)」を策定しました。本計画は、守谷市のごみ処理に関する基本的な事項を定めたものです。

ごみ処理の取組は、自然豊かな守谷市の環境を守り、子どもたちの未来に約束できる持続可能なまちづくりのために、とても重要です。

事業者や市民の皆様も是非、ごみ処理について知り、ごみを「減らす」「ごみになるものをもらわない」「再利用する」「直して大切に使う」「再生させる」など、できることを考えてみましょう。



### リデュース (Reduce)

丈夫なものや詰め替え製品を選び、ごみを減らす



### リユース (Reuse)

中古品や瓶などを繰り返し使い、再利用する



### リサイクル (Recycle)

しっかりと分別して資源化し、再生させる



### リフューズ (Refuse)

エコバックや自分の容器を持参し、ごみになるものをもらわない



### リペア (Repair)

壊れたものも修理し、長く使う



### 将来像

## 水と緑のパワースポット もりや ～持続・創造・進化するまち～

わたしは子どもたちの未来に約束します

恵みをもたらす水と美しいみどりを残します

快適で心豊かに暮らす自慢の街をつなぎます

地域で協力し合い活力ある未来に向けて挑戦します

第三次守谷市総合計画より

### ■将来像実現に向けた取組

#### 取組①：ごみの減量化

- ごみ分別徹底(5種16分別)への取組促進
- 食品リサイクル堆肥化事業への参加促進及び食品ロス削減の推進

#### 取組②：再資源化への取組

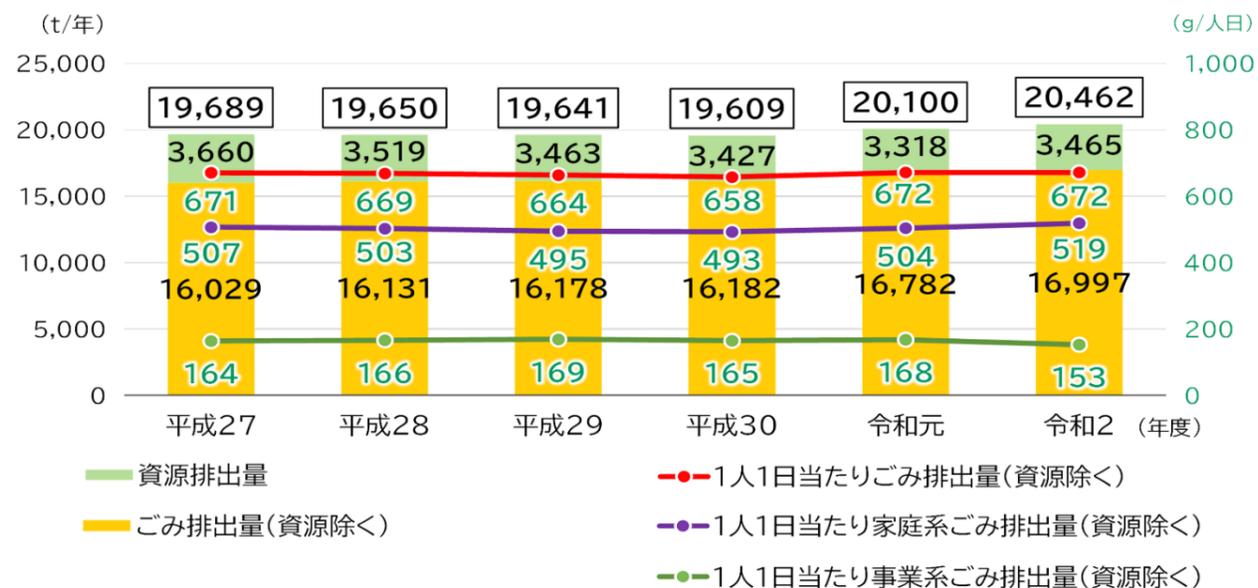
- 5Rへの取組に対する市民・事業者の参画促進
- 資源物回収、ごみの資源化への普及啓発

#### 取組③：廃棄物の適正処理

- 守谷市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づく施策の展開
- ごみ集積所の適正な維持管理と排出マナーの周知・徹底

## 守谷市の現状

- 1人1日当たりのごみ排出量は、平成27年度から平成30年度まで減少していましたが、令和元年度以降増加しています。
- 守谷市と周辺自治体のごみを処理している常総環境センターの処理能力は上限に近い状態となっており、資源を除くごみ排出量の抑制が必要です。



## 目標

- 今後も人口が増加する見通しである守谷市では、1人1日当たりのごみ排出量(資源除く)を抑制し、ごみ排出量(資源除く)の増加を抑制するとともに、資源化率を向上させる必要があります。

本計画の目標値

項目	令和2年度 基準年度	令和8年度 中間目標	令和13年度 計画目標
ごみ排出量(資源除く)	16,997t	16,997t	16,997t
総人口	69,284人	70,235人	71,390人
補助指標	1人1日当たり ごみ排出量(資源除く)	672g/人日	650g/人日以下 (令和2年度より△3.3%)
	1人1日当たり 家庭系ごみ排出量(資源除く)	519g/人日	502g/人日以下 (令和2年度より△3.3%)
	1人1日当たり 事業系ごみ排出量	153g/人日	148g/人日以下 (令和2年度より△3.3%)
資源化率	16.9%	20%以上	

## ゴールへの道筋(基本方針)

- 将来像の実現に向けたゴールとゴールへの道筋として、3つの基本方針を示しています。関係する全ての方が、それぞれできることを確認し、取り組んでいきましょう。

### 〈基本方針〉

基本方針	SDGsとの対応
<b>基本方針1：ごみの減量化の推進</b> 持続可能な循環型社会を形成するためには、5Rの実践が重要です。ごみとなるものを受け取らないこと(リフューズ)、ごみの発生を減らすこと(リデュース)、排出されたものを再利用すること(リユース)、修理して長く使うこと(リペア)、そして、再資源化すること(リサイクル)で、最終的に埋立されるごみを減らしていく必要があります。	12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで目標を達成しよう
<b>基本方針2：さまざまな資源化への取組</b> 再利用が可能である資源物について、分別収集の指導・周知や、集団回収の支援・活用、生ごみの堆肥化等を現在も実施していますが、さらなる資源化に取り組んでいきます。	12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで目標を達成しよう
<b>基本方針3：意識の向上と実践</b> 市民、事業者、市がそれぞれの役割を理解し、適切に遂行するとともに、ごみ減量化に向けた意識を向上させることで、ごみ問題に積極的に取り組んでいきます。	12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナリシップで目標を達成しよう

- ゴール 12: つくる責任 つかう責任
- ゴール 13: 気候変動に具体的な対策を
- ゴール 17: パートナリシップで目標を達成しよう

### 〈ゴールの設定〉

## 持続可能な循環型社会の形成

—ごみの削減、資源化率の向上により持続可能な社会を築きます—

## 5 Rから実現しよう！ 第三次守谷市総合計画で描く未来

守谷は、わたしの「幸せに暮らしたい」という希望をかなえてくれます。

守谷は、わたしにとって「住みたいまち No.1」として創造と進化を遂げながら、このさきずっと続いています。

